

中学生、自衛隊の職場体験



自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木3陸佐）は7月22日（金）、横須賀基地で実施された山手学院中学校の職業体験学習を支援した。

生徒28名と教諭2名が参加し、海上自衛隊の概要説明・結索体験・基本教練・体験喫食・艦艇見学を行った。

ロープを結ぶ結索体験では色々な結び方を演練した。中でも『もやい結び』がなかなかうまく結べずに「むずかしい」という声も聞こえたが、何度もチャレンジして成功した時には生徒達は歓声を上げて喜んでくれた。また、基本教練では暑さに負けず全員が真剣に取り組み『敬礼』や『気を付け・休め』等を自衛官さながらに行えるようになっていた。

生徒たちが一番楽しみにしていた体験喫食では、金曜日ということもあり海上自衛隊名物のカレーをお腹いっぱい堪能し「美味しくて食べ過ぎちゃった」とお腹をさする生徒もいて和やかな昼食となった。

昼食後は『護衛艦おなみ』の艦内見学を実施し、普段なかなか見られない艦橋の説明や迷路のような船内を楽しんだ。

引率を担当した教諭からも「生徒と一緒に体験学習に参加して、大変貴重な体験ができました」と喜んでいただき、良い職業体験になったようだった。

上大岡募集案内所は「今後も学校との連携を深め、多くの生徒や教職員に自衛隊の魅力を伝えたい」としている。



横浜北地区県立高校インターンシップを支援



自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 田中3陸佐）は8月2日（火）、横浜北地区の県立高等学校で行われたインターンシップを支援した。

この事業は高校生が一定期間に企業等において就業体験するもので、望ましい勤労観・職業観の育成と必要な知識や技術、さらには主体的な進路選択ができる能力・態度を身につけられるようとの要望を受けて実施したもので、自衛隊の仕事に興味を持つ1・2年生7名と教員1名が参加した。

当日は厚木基地広報班の支援を受け全般説明に始まり、厚木航空基地隊による飛行場管制業務・レーダー管制業務、シミュレーターを使用した航空機の離発着やレーダーによる航空機誘導業務を実際に体験した。第4航空群ではP-1哨戒機を見学し、パイロットによる日本周辺海域の防衛及び監視活動の重要性について講義を受けた。第4整備補給隊では学生と同じ横浜北地区出身の隊員の入隊動機を聞き、自衛官を身近に感じてもらった。その他にも地上救難班で消防活動を体験したり、米軍のフードコートでの食事など厚木基地の特性を感じてもらった。

参加した生徒達からは「自衛隊を身近に感じる事が出来ました」「女性でも働ける職場が沢山あることを知った」「航空機の管制業務を体験出来て楽しかった」などの声が聞かれた。

横浜出張所は、「今後も積極的に各学校の職業体験等に協力し、自衛隊の仕事に対する理解を深めていきたい」としている。